

岐阜県立土岐商業高等学校

校 長 浅 井 芳 仁  
学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1  
電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校 学校評議員会（第2回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

|    |         |                  |
|----|---------|------------------|
| 委員 | 犬 塚 和 世 | 元土岐商業高校育友会役員     |
|    | 太 田 雅 也 | 東海旅客鉄道株式会社 土岐市駅長 |
|    | 竹 下 啓 太 | あいちビジネス専門学校 校長補佐 |
|    | 土 屋 早百合 | 土岐地区更生保護女性会理事    |
|    | 堀 田 重 一 | 土岐市土岐口財産区議長      |

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 学校側 | 校 長     | 浅 井 芳 仁 |
|     | 教 頭     | 野々山 伸 一 |
|     | 教 頭     | 清 水 芳 樹 |
|     | 事 務 長   | 老 田 晃 聖 |
|     | 教 務 主 任 | 村 橋 昌 則 |
|     | 生徒指導主事  | 鬼 頭 克 好 |
|     | 進路指導主事  | 寺 澤 喜 孝 |
|     | 商 業 部 長 | 堀 井 篤   |
|     | 教務部（記録） | 若 尾 昌 彦 |

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 令和元年12月11日(水) 15:00 ~ 16:30  
(15:00 ~ 15:20 授業参観)

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員4名 学校側8名 計12名が参加

\*校長の挨拶後、本校の教育について説明し、意見交換を行った。

5 会議の概要

1 校長挨拶

2 本校の教育について（令和元年度教育の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部、商業部）より本年度の成果と課題についての説明を行った。

3 意見交換

学校運営・教育活動・校則に関することについての意見交換を行った。

テーマ（１）：「本校の教育」について

○ 意見及び質疑応答

質問１：キャリアガイダンスを１年生は１２月に、さらに２年生は２月に実施するのは、学年に応じて自分の進路を選択していくためか。

回答１：はい。学年に応じて、段階的に進路を選択していくようにキャリアガイダンスを行っています。

質問２：これまで通り１・２年生は、届け出制で長期休みにアルバイトをしているのか。就職する生徒もいて社会勉強にもなるので、アルバイトをさせてもよいのではないか。

回答２：今後の検討課題とします。

質問３：今年度の１年生の定員が２５人減り、来年度の１年生の定員もさらに２５人減るのか。

回答３：令和２年度入学生の定員は、今年度の１年生と同じです。

質問４：就職先や進学先はかなりよいところのようですが、その後の追跡調査はされていますか。

回答４：企業に出向いて求人をお願いする際等に、その後の状況については伺っています。

質問５：永く勤めることも大事ですし、女性にとっては結婚等もあります。進学者等についてもその後の状況等について生徒たちに知らせることは、生徒たちに違う視点を提供することになると思います。

回答５：進学者も含めて、冊子やパンフレットで紹介して、生徒が目指す目標の参考とさせています。

意見１：今日のガイダンスでもそうでしたが、商業分野ではない仕事や学問を紹介されていたことは大変よいことだと思いました。

テーマ（２）：学校への意見・質疑応答等

○ 意見及び質疑応答

質問１：ICT環境について、教室のプロジェクターはインターネットとつながっているか。インターネットにすぐつながる環境はよいが、よくないこともある。どのようにコントロールされるか。

回答１：つながります。近々タブレットも導入される予定です。タブレットの保管は教室以外で行い、管理していきます。また、Wi-Fiもアクセスを管理します。

意見１：インターネットは使い方によってよさも悪さもある。インターネットを扱う意識を高めてほしい。

質問２：たしか、以前は定員割れをしていたと思うが、現在はどうか。

回答2：商業科のよさをアピールし、中学生の理解を広げた結果もあり、ここ2年は定員を超えている。当地区は私学が多く、厳しい。難関大学にも進学できる本校のよさを今後もアピールしていきます。

質問3：本校からの就職はよいところに入れるようだが、大学進学した生徒は自分で就職活動を行う難しさはないか。

回答3：高校は企業との信頼関係をもとに求人を絞っていますが、大学は広く求人するため仕組みが異なります。また、この頃は進路を探る嗅覚のある生徒が多いと感じます。そのため、大学進学後も十分就職していけると考えます。今年度は就職希望者が多かった影響があり、進学は国公立大が少なく、力のある生徒が有力企業への就職を希望する傾向がありました。

意見2：JR東海への7人もの求人はほかにはない。OBも元気に活躍している。

意見3：就職希望者の内定率が100%ということですが、ある程度の大企業では研修があり、そこでさらに資格を取ったり専門性を磨かれたりする。そうした資格取得等の情報を生徒に流し、就職させると生徒がもっと伸びるのではないか。

意見4：土岐商の魅力のひとつはスポーツ（部活動）と聞いている。駅伝やプロ野球等での活躍もある。スポーツに力を入れていくと、入学希望者がさらに増えるのではないか。

質問4：セントレアへの就職者は、コミュニケーションコースの生徒か。本日のキャリアガイダンスで、外語系の大学の説明を聞いていた1年生が2人だけだった。外国人観光客が増えるなかで、英語力は大切ではないか。

回答4：セントレアへの就職者は、マーケティングコースの生徒で、3年前から継続して就職している。求人の際に英語能力を問われていません。

質問5：制服で、女子生徒のズボンに興味を持ったが、いじめにつながることはないか。

回答5：いじめはありません。むしろ「もっと早くわかっていたら使いたかった」との声もありました。寒冷地であり自転車登校もある関係か、冬と夏で着分ける生徒もいるのではないかと思います。他校でも同じ動きがあり、ズボンの利用者は10～15人程です。

## 6 会議のまとめ

長時間にわたり多くのご意見をいただきありがとうございました。今後の学校運営に生かしてまいります。本日はありがとうございました。